

鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年1月検出分 検体採取 令和7年12月及び令和8年1月)

令和8年2月日
鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体63件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63（※1）、コロナOC43（※2）

○検査対象（細菌）

百日咳菌（※3）、*Bordetella holmesii*（※3）、*B. parapertussis*（※1）（※3）、マイコプラズマ（※1）

※1 5月21日搬入検体分より実施。

※2 10月1日搬入検体分より実施。

※3 12月以降の搬入検体分については試験休止中。

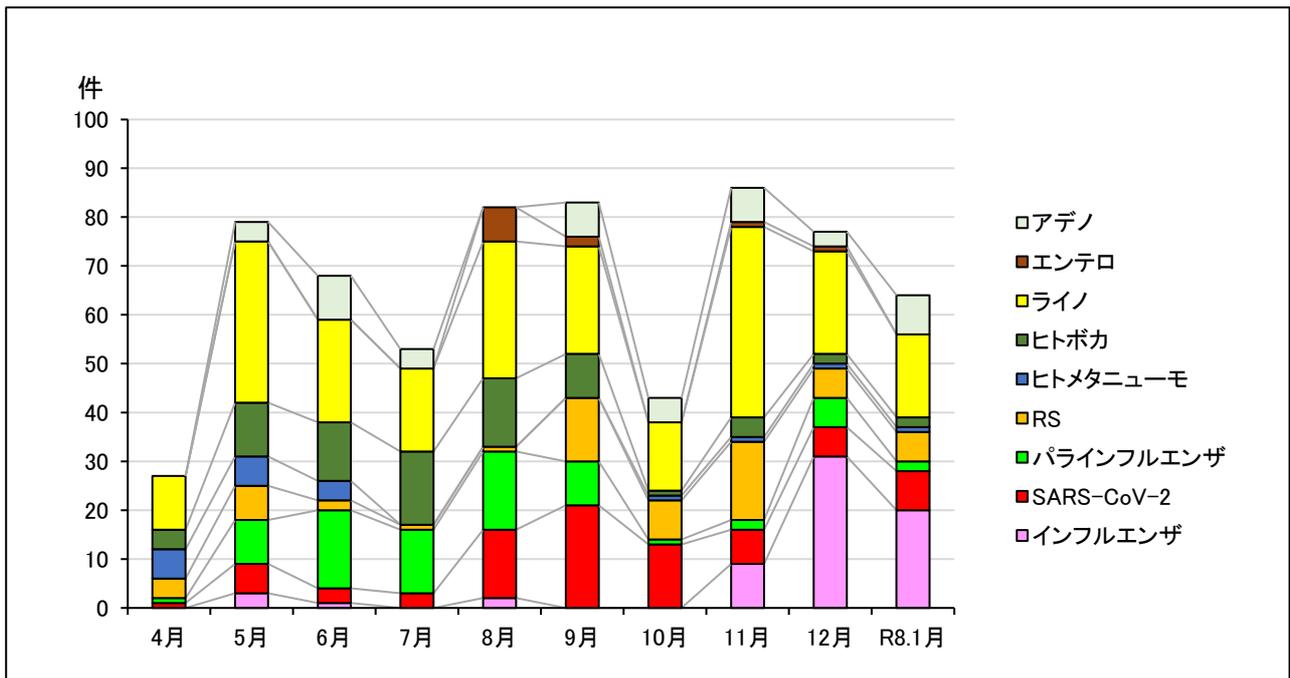
○検出結果

63件中55検体（87%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：17件、ボカ：2件、ヒトメタニューモ：1件、RS-A型：2件、RS-B型：3件、SARS-CoV-2：8件、パラインフルエンザ3：1件、パラインフルエンザ4：1件、アデノ：6件、インフルエンザA型：17件、インフルエンザB型：3件、コロナNL63：4件、コロナOC43：3件であった。令和7年4月から令和8年1月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和7年4月～令和8年1月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（1月検出数/累積）														合計	
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≦		63	643
標本数	27	259	4	41	2	14	5	54	7	97	14	124	4	54	63	643
ライノ	13	154		15		6	2	16		18	2	12		2	17	223
ボカ	2	69		1				1				2		1	2	74
ヒトメタニューモ	1	12								2		6			1	20
RS-A	1	5								1	1	3			2	9
RS-B	1	17		2				1		4	1	7	1	7	3	38
SARS-CoV-2	2	12		1		1		6		14	5	32	1	16	8	82
パラインフルエンザ1		1								1		2				4
パラインフルエンザ2		7		3								2				12
パラインフルエンザ3	1	16								6		6		5	1	33
パラインフルエンザ4		21	1	2						1		2		1	1	27
アデノ	6	28		2				3							6	33
エンテロ		11														11
インフルエンザA型	6	16	2	5	2	4	1	7	3	12	2	10	1	4	17	58
インフルエンザB型		1				2	2	3		1	1	1			3	8
百日咳				2								1				3
コロナNL63	4	10										1			4	11
コロナOC43	2	2							1	1					3	3
マイコプラズマ		9		1		1		5		3		1				20
検出せず		19	1	11		2		19	3	34	3	41	1	18	8	144

図 1. 月別主要ウイルス検出状況（令和 7 年 4 月～令和 8 年 1 月検出分）



アデノウイルス 6 件のうち、C 種 1 型が 1 件、C 種 2 型が 4 件検出された。アデノウイルス C 種 1 型および 2 型は急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

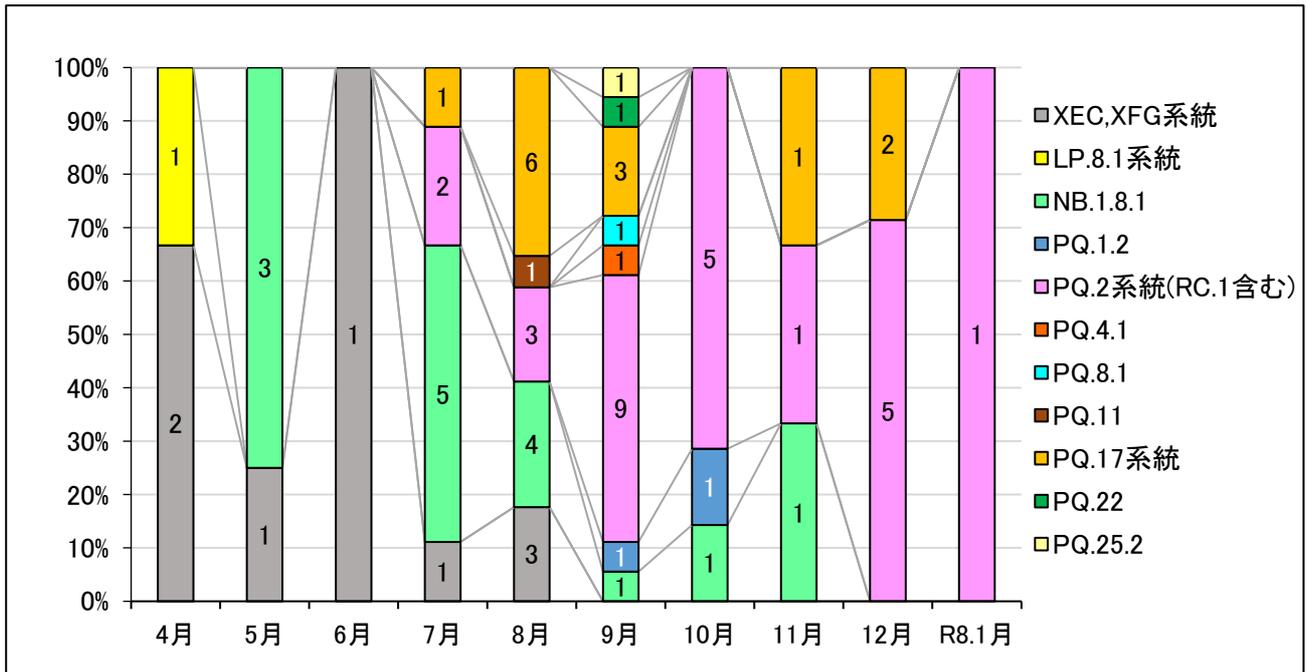
インフルエンザ A 型 17 件はすべて H3 型であった。インフルエンザ B 型 3 件はすべてビクトリア系統であった。

SARS-CoV-2 の系統は表 2 及び図 2 に示すとおり、PQ. 17. 2 が 1 件、PQ. 2. 4 が 1 件、RC. 1 が 1 件、PQ. 2. 8. 1 が 1 件であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、NB. 1. 8. 1 系統と、NB. 1. 8. 1 系統の下位系統が依然大多数を占めている。

表 2. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 8 年 1 月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R7. 12. 17	70 代	PQ. 17. 2
R7. 12. 17	70 代	PQ. 2. 4
R7. 12. 25	70 代	RC. 1
R8. 1. 5	70 代	PQ. 2. 8. 1

図2. 月別 SARS-CoV-2 ゲノム解析結果 (令和7年4月～令和8年1月検出分)



2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の6件について検査を行ったところ、アデノウイルスF種41型が1件、ノロウイルスG1が1件検出された。F種41型は感染性胃腸炎の原因となるウイルスである。その他、感染性胃腸炎の原因となりうるウイルスは検出されなかった。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の14件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が11件(T型別3型:1件、T型別4型:4件、T型別B3264型:6件)分離された。3型、4型、B3264型は咽頭炎で多くみられる型である。

4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の1件について検査を行ったところ、B型が1件検出された。

5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の1件について検査を行ったところ、エンテロウイルス、アデノウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスのいずれのウイルスも検出されなかった。